

今、精神障害者と共に地域で暮らすことを真剣に考える

～正しい情報と知識を得て、個々の尊厳と向き合おう～

皆さんは「精神障害」と聞いてどのような印象を持たれますか？

「私たちと何も変わらない」「穏やか」などの意見がある一方、「怖い」「何を考えているかわからない」などの意見もあるのではないのでしょうか。

特に、精神疾患に関係する事件が起こるとマイナスなイメージが先行し、すべての精神障害者がそうであるように感じ、偏見や差別に繋がってしまうのではないかと危惧されます。

薩摩川内市にも様々な事情により、精神科病院に長い期間入院されている患者さんがいらっしゃいます。その方たちが住み慣れた自宅やふるさとに戻り、自分らしい生活を送ることが出来るためにはどうすれば良いのでしょうか。

そして、私たちには何が出来るのでしょうか、一緒に考えてみませんか。

誰だって、病気になることはありますよね。

誰だって、障害を持つことはありますよね。

障害や病気を持つ人々が「薩摩川内市は暮らしやすい」と思えたとしたら、それは、みんなが暮らしやすい薩摩川内市だということではないのでしょうか。

若者から高齢者まで、他の誰でもない、あなたの参加が未来を創ります。

3月4日(土)

午後1時00分～

午後5時15分まで

定員 **200名**

参加
無料

会場

薩摩川内市

総合福祉会館

薩摩川内市永利町4107-1

無料託児
あります

主催 薩摩川内市社会福祉協議会権利擁護センター

共催 薩摩川内市

後援

鹿児島県／鹿児島県社会福祉協議会／鹿児島県精神科病院協会／鹿児島県医師会
川内市医師会／薩摩郡医師会／南日本新聞社／全国権利擁護支援ネットワーク
鹿児島県精神保健福祉士協会／鹿児島県社会福祉士会

FAX 0996-29-5569

権利擁護シンポジウム プログラム

- ⌚ 13:00 開会
 - ⌚ 13:05 **精神障害者の地域移行について**
 鹿児島県障害福祉課精神保健福祉対策監 松永 絹子 氏
 - ⌚ 13:45 **連載企画「精神障害とともに」を通して伝えたいこと**
 ～ 今、鹿児島で何が起きているのか ～
 南日本新聞社編集委員 豊島 浩一 氏
 - ⌚ 14:45 **パネルディスカッション**
 登壇者が自身の活動や想い等を発表した後に、司会進行が中心となり、課題や展望について登壇者、助言者及び全員（来場者を含む）で議論を深めていきます。
- テーマ 今、精神障害者と共に地域で暮らすことを真剣に考える**
 ～正しい情報と知識を得て、個々の尊厳と向き合おう～
- | | | |
|----------------------|---------|---------------------------------------|
| コーディネーター
(進行・調整役) | 岡田 洋一 氏 | 鹿児島国際大学准教授 |
| パネリスト
(登壇・発表者) | 川畑 良二 氏 | ピアサポート専門員（当事者）／大口病院デイケア |
| | 佐藤 大輔 氏 | 医師／メンタルホスピタル鹿児島院長 |
| | 新田みすづ 氏 | 保健師／訪問看護ステーションみすづ代表 |
| | 小田原 浩 氏 | 株式会社アトスフーズ代表取締役社長
障害者の就労支援（食品加工業務） |
| | 井上 聡子 氏 | 保健師／薩摩川内市障害・社会福祉課 |
| アドバイザー
(助言・提案者) | 松永 絹子 氏 | 鹿児島県障害福祉課精神保健福祉対策監 |
| | 豊島 浩一 氏 | 南日本新聞社編集委員 |
- ⌚ 17:15 閉会

参加申込書 (FAX 0996-29-5569)

氏名 または 団体名	人数	備考欄
	名	
	名	
無料託児を希望される場合 ➡	託児希望人数	電話番号 (必ずお書きください)

- ※1 身体障害、視覚障害、聴覚障害等によりサポート、配慮が必要な場合には事前に下記お問合せ先までご連絡をお願いします。可能な限り対応させていただきます。
- ※2 当日参加も可能ですが、資料の用意の都合上、事前申し込みにご協力ください。

お問合せ先: **電話: 29-5587 / 薩摩川内市社会福祉協議会権利擁護センター**
 薩摩川内市永利町4107-1、市総合福祉会館内(月～金曜日8:30～17:15、祝祭日除く)
E-mail : y-kawasaki@satsumasendai-shakyo.jp